○ 支払請求書の様式等に関する規程(昭和49年7月16日基金規程第3号)新旧対照表

(傍線部分は改正部分)

改正後	改正前
別記様式第1号 損害 補償 費 支 払 請求 書	別記様式第1号 損害補償費支払請求書
第 号 年 月 日	第 号 年 月 日
消防団員等公務災害補償等共済基金理事長 殿	消防団員等公務災害補償等共済基金理事長 殿
都 市 道 町 長 氏名 府 村 ^長 氏名 県 組合管理者	都 市 道 町 長 氏名 <u>印</u> 県 組合管理者
ほか 点に係る損害補償費の支払を別添内訳書のとおり請求します。 損害補償費の請求額合計 円	ほか <u>名</u> に係る損害補償費の支払を別添内訳書のとおり請求します。 損害補償費の請求額合計
	
□療養補償費內訳書 (枚)□介護補償費內訳書 (枚)□分護補償費內訳書 (枚)□遺族補償費內訳書 (枚)□遺族補償費內訳書 (枚)□葬祭補償費內訳書 (枚)□葬祭補償費內訳書 (枚)□	内訳書等 口 休 業 補 償 費 内 訳 書 (枚) 口 遺 族 補 償 費 内 訳 書 (枚)
○種類 □傷病補償年金変更内訳書 (枚) □未支給の損害補償費内訳書 (枚) □障害補償費内訳書 (枚) □事故状況等証明書 (枚)	の種類 □傷病補償年金変更内訳書 (枚)□未支給の損害補償費内訳書 (枚)
□障害補償費変更内訳書 (枚)	□障害補償費変更内訳書 (枚)
※損害補償費支払決定額 円 (名分)	※損害補償費支払決定額 円 (名分)
※受理年月日 年 月 日 ※支払年月日 年 月 日	※受理年月日 年 月 日※支払年月日 年 月 日
(事項] (略)	[注意事項] (略)

地方公共団体コード		<u> </u>		地方公共団体コード	-1.5.1	
(請求団体)	請求年月日: 年 月 日			(請求団体)	請求年月日:	年 月 日
消防団員等公務災害補償等共済	第 号 基金理事長 殿			消防団員等公務災害補償等共済	f基金理事長 殿	号
	_					卸
別添個人別調書のとおり退職者	増金の支払を請求します。			別添個人別調書のとおり退職報	設備金の支払を請求します。	
地方公共団体コード (調書証明団体) : 市	証明年月日: 年 月 日		市	地方公共団体コード(調書証明団体)	証明年月日:	年 月 日
町 村 長 尺 ス は 消 防 機	事実と相違ないことを証明します。		町村長又は消防機	別添個人別調書の記載事項は、 所在地	事実と相違ないことを証明	します。
市町村又は 名称 長 消防機関の 責任者氏名 証 明	_		関の長の証明	市町村又は 名称 消防機関の 責任者氏名		<u> </u>
退職報償金の請求額合計:	千円 (名分)			退職報償金の請求額合計:	千円 (名分)	
医金受付印欄 (当欄は記入しないで下さい。)	備考: auxilian au	その他	基金受付	†印欄 (当棚は記入しないで下さい。)		civで下さい。 コード 公和 その他 用欄 受 付

下記	道 町 長 中	氏名 _	下記車	項は事実と相違ないことを証明します。	道府	- 	氏名	!
I HC	県 組合管理	里者	1 10 7	·Ris PACIDE'SV CCCEMPIOS 7	県			
	種 別 □ 消防団員 □ 水防団員 □ 消防作業従事者 □ 水防従	事者 □ 応急措置従事者 □ 救急業務協力者		種 別 □消防団員 □水阪	防団員 口消防作	「業従事者 □ 水防従事	事者 □ 応急措置従事者	□ 救急業務協力
卡常勤	は 所 よりが氏	(男・女)	非常勤祚	住所		氏 名	£	(男・女
方団員	職業名(※紹介)	日 年 月 日(歳)	防団員等	職業名(詳細に)		生年月日	年 月	日 日 (歳
4	(詳細に) 2年7月 発生の場所 発生日	左前	7%	生の場所		発生日時	上前	時
利		十後	種		□訓練□		十後	
1	重 別□消火□水防□訓練□整備補修□レク!	リエーション □消火等往復路 □その他	性	別□消火 □水防	□ 訓練 □	整備補修 ロレクリー	エーション □ 消火等往?	復路 口での
事	発		事発					
	生		生					
	0							
			0					
	原		原					
1	因		因					
故								
	状		状					
	況		況					
Ι,								
補	補償基礎額 円 配偶者の有無	□有 □無	補	補償基礎額	円	配偶者の有無	□有	□無
	## on	□有 □無 生 年 月 日 (歳) 続 柄	THI	pH: var		ふりがな 氏 名	生年月日(歳	
償	基礎額勤務年 年 円 扶		償	基礎額勤務年	円挟	ふりがな 氏 名	,	続 棉
償	基礎額	生年月日(歳) 続柄	THI	基礎額勤務年	円扶	氏 名	生年月日(歳	続 続 柳
償基	基礎額 階級 円 技養 円×1人= 円 大養 円×1人= 円	生年月日(歳) 続柄	償	基礎額勤務年	円扶	5 り が な 氏 名	生 年 月 日 (歳 年 月 日 (続 続 柳
償基礎	基礎額 勝級 円 扶養 円×1人= 円 加算額 円×人= 円	生年月日(歳) 続柄 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳)	賞基礎	基 礎 額 <u> </u>	円	5 り が な 氏 名	生年月日(歳 年月日(年月日(年月日(続 続 材 (歳) (歳) (歳)
償基 礎 額	基礎額 一件 基礎額 一件 基礎額 一件 基準 一件 大養 一円 加算額 一円 一円 一件 大子 一件 大子<	生年月日(歳) 続柄 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳)	賞基礎	基礎額 幣級 數數 年 扶養 円×1人= 加算額 円×人= (特例 円×人=	円	5 り が な 氏 名	生 年 月 日 (蒙年 月 日 (年 月 日 (年 月 日 (年 月 日 ((歳) (歳) (歳) (歳)
基礎額等	基礎額 階級 円 技養 円×1人= 円 加算額 円× 人= 円 (特例 円× 人= 円 加算) 円× 人= 円	生年月日(歳) 続柄 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳)	備 賞 基 礎 額 宗	基礎額 幣級數等年 年 扶養 円×1人= 加算額 円× 人= (特例 円× 人= 加算) 円× 人=	円 世 円 世 円 円 円 円	* 9 # 6 氏 名	生年月日(歳 年月日(年月日(年月日(年月日(年月日((歳) (歳) (歳) (歳) (歳)
償基 礎 額 等	基礎額 一件 基礎額 一件 基礎額 一件 基準 一件 大養 一円 加算額 一円 一円 一件 大子 一件 大子<	生年月日(歳) 続柄 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳)	備 賞 基 礎 額 宗	基礎額 幣級 數數 年 扶養 円×1人= 加算額 円×人= (特例 円×人=	円 世 円 世 円 円 円 円	* 9 # 6 氏 名	生年月日(歳年月日(歳年月日(年月日(年月日(年月日(年月日(年月日((歳) (歳) (歳) (歳) (歳)
償基礎額等※消	基 礎 額 第 年 年 円 共 氏 9 ボ 名	生年月日(歳) 続柄 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 華月日(歳) 費を除く。)を請求する場合は、別紙を添付して下さい。	備償基 内砂 額 新 等 ※ 消渉	基礎額 階級數等 女妻 月×1人= 加算額 円×人= (特例 円×人= 加算) 円×人= 56作業従事者等の過去1年間の収入金額 期	円	なりがる 氏 名	生年月日(歳年月日(歳年月日(年月日(年月日(年月日(年月日(年月日((歳) (歳) (歳) (歳) (歳) (歳) (歳)
償基 礎 額 等 ※ 消防団	基礎額	生年月日(歳) 続柄 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 華月日(歳) 費を除く。)を請求する場合は、別紙を添付して下さい。	備償基礎額等 ※消防団	基礎額 階級 数数 円×1人= 扶養 円×人= 加算額 円×人= (特例 円×人= 方作業従事者等の過去1年間の収入金 階級 期	円	なりがる 氏 名	生年月日(歳年月日(歳年月日(年月日(年月日(年月日(年月日(年月日((歳) (歳) (歳) (歳) (歳) (歳) (歳)
グロボー グロイン グロイ	基礎額 構務報 中 共業 供養 円×1人= 円 ボース 東 所算額 円×人= 円 加算) 円×人= 円 加算) 円×人= 円 加算) 円×人= 円 加算) 円×人= 円 下 板 間 階級期 下 を設定してのの	生年月日(歳) 続柄 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 夢を除く。)を請求する場合は、別紙を添付して下さい。 期間	棚 償 基 礎 額 等 ※ 消防団員又	基礎額 階級 數務年 年 扶養 円×1人= 加算額 円×人= (特例 円×人= 加算) 円×人= 56年業従事者等の過去1年間の収入金 階級 期	円	まりが 名 氏 名	生年月日(歳年月日(歳年月日(年月日(年月日(年月日(年月日(年月日(東本院へ。)を請求する場合は、別期	(歳) (歳) (歳) (歳) (歳) (歳) (献)
グロボー グロイン グロイ	基礎額 構務報 中 共業 供養 円×1人= 円 ボース 東 所算額 円×人= 円 加算) 円×人= 円 加算) 円×人= 円 加算) 円×人= 円 加算) 円×人= 円 下 板 間 階級期 下 を設定してのの	生年月日(歳) 続柄 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 夢を除く。)を請求する場合は、別紙を添付して下さい。 期間 厳していたことを証明します。	棚 償 基 礎 額 等 ※ 消防団員又は	基礎額 階級 数数 円×1人= 扶養 円×人= 加算額 円×人= (特例 円×人= 方作業従事者等の過去1年間の収入金 階級 期	円	まりが 名 氏 名	生年月日(歳年月日(歳年月日(年月日(年月日(年月日(年月日(年月日(東を除く。)を請求する場合は、別期	(歳) (歳) (歳) (歳) (歳) (歳) (間
償基礎額等 ※消防団員又は水防	基礎額 構務報 中 共業 供養 円×1人= 円 ボース 東 所算額 円×人= 円 加算) 円×人= 円 加算) 円×人= 円 加算) 円×人= 円 加算) 円×人= 円 下 板 間 階級期 下 を設定してのの	生年月日(歳) 続柄 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 費を除く。)を請求する場合は、別紙を添付して下さい。 期間 厳していたことを証明します。 年月日	開 賞 基 礎 額 等 ※ 消防団員又は水防	B	円	まりが 名 氏 名	生年月日(歳 年月日(年月日(年月日(年月日(年月日(東を除く。)を請求する場合は、別 期	(歳) (歳) (歳) (歳) (歳) (歳) (献)
グロボー グロイン グロイ	基礎額	生年月日(歳) 続柄 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 年月日(歳) 費を除く。)を請求する場合は、別紙を添付して下さい。 期間 厳していたことを証明します。 年月日 年月日 日	開賞基礎額等※消防団員又は水	B	円	条業補償費及び介護補償費 「階級」 上記のとおり在職	生年月日(歳年月日(歳年月日(年月日(年月日(年月日(年月日(年月日(東月日(東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) ((歳) (歳) (歳) (歳) (歳) (歳) (間

別紙

消防作業従事者等の過去1年間の収入金額票

	勤務	して	いた	場	合		自 家	営	業 の	場	合
支払対	対象者の氏名					収	入のあ	った年			年分
給与等	等の支払期間	年	月から	年	月までの1年間		種	別	金		額
	種別		金	額							円
給					円	収					円
_					円						円
与					円	入					円
等					円	人					円
	計				円		Ī	+			円
	上記のとおり	相違ないこ	ことを証明	します	۲.		上記のとは	おり相違な	いことを証	明しま	す。
	年	月	日				年	月	日		
	所 在 地					都道府県	. 市町村』	三 氏 夕			
使用	主の 名	称					油地 但 川 芥	ረ 111 ዜ1 ሊያ ፲	X 八 石		
	責任者	氏名			_						

[注意事項] (略)

別紙

消防作業従事者等の過去1年間の収入金額票

	勤務	して	いた	場	合		自 家	営	業の	場	合
支払対	対象者の氏名					収	入のあ	った年			年分
給与領	等の支払期間	年	月から	年	月までの1年間		種	別	金		額
	種別		金	額							円
給					円	収					円
与					円						円
					円	入					円
等					円						円
	計				円			計			円
	上記のとおり	相違ない	ことを証明	しま	す 。		上記のと	おり相違な	いことを証	E明しま	ます。
	年	月	目				年	月	目		
	所 在	地					都 道 府 [県市町村:	長氏名		
使用	主の名	称					10 10 11 1	47 113 113 113	X X A		
	責任者	氏名			<u>(A)</u>						<u>(A)</u>

[注意事項] (略)

式第4号		別記様式第4号	
診療費請求明細書(病院・	<u>1 号 紙</u> 診療所用)	診 療 費 請 求 明 細 書 (病院・診療	黎所用) 氏 名
第 1	1 年 月 日	傷 1	1 年 月 日 ib 年 月 日から 診療 実 日 日
> 療 の 内 訳 (□病院 □診療所)	※審査 転帰 □治ゆ □中止 □死亡 □継続 □転医	診療の内訳(□病院□診療所)	※審査 転帰 □治ゆ □中止 □死亡 □継続 □転l
診 時間外・休日・深夜 回 点	点 診療の内容(基金基準) ※ 審 査	初診 時間外・休日・深夜 回 点	点 診療の内容(基金基準) ※ 審 査
手 再 診 × 回 外来管理加算 × 回 時 問 外 × 回 休 日 × 回	初 診 料 円 再 診 料 × 回 再 診 時 俄 養 指 導 管 理 料 × 回 そ の 他	再 診 × 回 外来管理加算 × 回 時 問 // X 回 休 日 × 回	初 診 料 円 再 診 料 × 回 再診時療養指導管理料 × 回 そ の 他
: 深 夜 × 回	\$1 01 100 100 100 100 100 100 100 100 10	診 深 夜 x 回	St to THE
導 在 往 診 回	摘要	在 往 診 回	摘 要
夜 下 照 回 で 深 夜 ・ 緊 急 回 で 在 宅 患 者 訪問 診療 そ の 他 を 多 郷 額		夜 間 回 アイマー で で で で で い で で で い 他 で で の 他 で か が 刻	
内服 { 薬剤 単位		東利 単位	
※ 外用		投棄 外用	
調基 皮下筋肉內 回 r 的 服內 回 その 他 回		調基 皮下筋肉内 注射 静 脈 内 そ の 他 回	
回 薬剤 F 回	治療用装具を必要 口 有 と認めたことの有無 口 無	処置 薬剤 手術 回	治療用装具の種類 と認めたことの有無 □ 無
中 薬剤	付 添 看 護 関 係	麻酔 薬剤	付 添 看 護 関 係
査 変剤 回		検査 薬剤 画像 診断薬剤 +の処対なん 回	看 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
 薬剤 入院年月日 年 月 日 □病院 入院科(入院環境科・看護科・給食科) 	期間 年 月 日 から □1人付看護 及び 看護 □2人付看護 日間	他 薬剤	期間 年 月 日から □1人付看護 日間 及び 間のうち □2人付看護 日間
□診療所	形態 年 月 日まで U3人付者護 点 入院 時 室 料 加 算 関 係	□診療所	形態 年 月 日まで U3人付看護 人 院 時 室 料 加 算 関 係
□ 基食	室料 ○個の種 期 年 月 日から 日間 類 □二人総屋 年 月 日まで	□基食 食有 × 日間 □普食 食無 × 日間 入院 □衣 特食 × 日間	室料 □個室 期 年 月 日から の確 期 □二人部屋 甲 月 日まで
そ の 他 入院時医学管理料 × 日間 × 日間	収容 した ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	その他 入院時医学管理料 × 日間 × 日間	収容 した。
× 日間 特定入院料	健康保険等他の法令による受給関係 受給	× 日間 特定入院科 合 計	健康保険等他の法令による受給関係 受給
診療報酬点数表により計算できるもの	(合計点数) (1点単価) ※		(合計点数) (1点単価) ***
診療報酬点数表により計算できないもの	点× 円 鉄= 円 ※ (文書科、治療用装具、入院時室料加算等) ロ ※	が原報酬点数表により計算できないもの イ診療報酬点数表により計算できないもの	点× 円 銭= 円 (文書料、拾療用装具、入院時金料加算等)
療費請求合計額(ア+イ)	M	診療費請求合計額(ア+イ)	
	,所在地		,所在地
上記の事項は事実と相違ないことを証明します。 年 月 日	医療機関の 名 称 医師の氏名	上記の事項は事実と相違ないことを証明します。 年 月 日	医療機関の 名 称 医師の氏名 <u>⑩</u>

試第4号	別記様式第4号
2 号 紙 診療費請求明細書(歯科用) 氏名	2 号 ấ 診 療 費 請 求 明 細 書(歯科用) 氏 名
(6) お歌 期間 年月日 (7) お歌 期間 年月日から 計画 (8) お歌 期間 年月日まで 実日数日 (6) 日本 日本 日本 (7) 日本 日本 日本 (8) 日本 日本 日本 (9) 日本 日本 日本 日本 (9) 日本 日本 日本 日本 (9) 日本 日本 日本 日本 日本 (9) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 (9) 日本 日本 日	(路) (路) (日) (日)<
診療の内容 ※審査 初診 時間外体日深夜 その他(方点点 再診 下診 × 時間外体日深夜 その他()	一部 10 10 10 10 10 10 10 1
管理・リハ 書管 義管 実地指 歯リハ1 歯リハ2 その他 投薬・注射内・屯・外・注 調 × × 处方 × + × 情 × + × 快 × + × 注 × × X 全頭 枚 写 × P混検 P部検 × 基 × 情 × そ ※ 模様 × × Sis × 列連動 × 平測 × 検 × ※ 査 × 検 ※ ※ 枚	管理・リハ 歯管 義管 実地指 歯リハ1 歯リハ2 その他 投業・注射内・屯・外・注 調 × × 処方 × + × 情 × + × 处 × + × 注 × × X 全額 水 厚混検 P P混検 P P部検 × 持 × 持 × 之 線 標 × × 5培 × 郷運動 × 早測 × 検 本 ※ 検 × 検 × め ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
う酸 X 保護処置 X X 填塞 X 取知過酸 X X V 技 X 機 X 提 X E Y	う他 × 保護処置 × × × 均 × × 校 × × 校 × 大 次 <td< td=""></td<>
- SC × + × × + × SPR 前 × 小 × 大 × 前 × 小 × 大 × 前 × 小 × 大 × F Peur 前 × 小 × 大 × 前 × 小 × 大 × 前 × 小 × 大 × 可問 × 元 × PEM 抜歯 乳 × 前 × 日 × 離 × 担 × + × 切問 × ※ F Peur 前 × 小 × 大 × 前 × 日 × 離 × 担 × + × 切問 × ※ F Peur 前 × 小 × PEM F Peur 前 × PEM F Peur have a pe	SC × + × × + × SPR 前 × 小 × 大 × 前 × 小 × 大 ×
RPP 伝称	
(合計) (合計) (合計) (合計) (也)	そ の 他 (合計) (合計) (合計)
ア 診療報酬点数表により 計算できるもの (合計点数) (1点単価) 円 ※ 供験等他の社会による受益関係 円 受添り 「有 無 「	ア 診療報酬点数表により 計算できるもの (合計点数) (1点単価) 円 機嫌保険等他の法令による受給関係 イ 診療報酬点数表により 計算できないもの (文書科等) 円 機無 日 ※ 円 保険の 日 ※ 円 円
	## (** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *
上記の事項は事実と相違ないことを証明します。	上記の事項は事実と相違ないことを証明します。

様式第 4	号					別記様式第	4号						
調剤乳	曹請求「	明 細 書 (薬局用)	氏 名		3 号 紙	調剤	費請求	明 細 書 (薬局用)	氏 名				3 号 紙
処方せんをダ	ぞ付した医療材	所 在 地 名 称 医師の氏名			受 付 回 数	処方せんを	交付した医療	所 在 地 名 称 医師の氏名	<u> </u>			受付回数	Ē
処方月日	調剤月日	処 方 医薬品・規格・用量・剤型・用法	調剤 単位薬剤料 数量	調剤報酬源剤料薬剤料	※ 審 査	処方月日	調剤月日	処 方 医薬品・規格・用量・剤型・用法	単位薬剤料		割剤報酬点数 薬剤料	加算料 ※ 審	査
	•		点	点点					点			点	J
	•			1									
	•			1									
	•			1									
	•			1				1					
	•	1		1									
	•	1		1				1					
	•			1									
	•			1									
	•			1									
	•			1									
	•			1									
	•			1									
	•	1		1									
	•	1		1									
	•	1		1									
	•	1		1									
	•			1									
適用						適用							
請求	点	※決定点調剤基本	料 点 時間外	等加算 点	指導料点	請求	点	※決定点調剤基本	 料 点	時間外等加算	点 指	当 導 料	/
		受給の有無	□有		無			受給の有無		□有	□無		
		保険の名称 支給される額			m			保険の名称 支給される額					
こよる受給		一部負担金			円 円	による受力	后)判余	一部負担金					
調剤	」費請 3			円 ※	円	調	剤 費 請			F	9 *		
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						と相違ないことを証明します。			· · ·		
		年 月 目	(所	在 地				年 月 日	_	所 在 均	也		
			薬局の 名	称					薬局の	名 和			
			薬 剤 i	師の氏名	_					薬剤師の氏々	ž		<u>(</u>
(事項)	(略))				[注意事項]] (略))					

第4号		別記様式第4号	
_	4 号紙		4 号:
施 術 料 請 求 明 細 書(柔道整復師等用)	氏 名	施 術 料 請 求 明 細 書(柔道整復師等用)) 氏 名
傷 病 名	探	傷病初檢名	(年) 月日 (年) 月日 (日)
	間数		1
	審査 転帰 □治ゆ □中止 □継続 □死亡 □転医	施療の内容	※審査転帰□治ゆ□中止□継続□死亡□転
初検料時間外深夜	円 摘 要	初 検 料 間 外 深 夜	ガ ガ
再検料年月日		再検料年月日	
年月日から 指導管理料 回 年月日まで		年 月 日から 指導管理料 回 年 月 日まで	
普通 回 夜間・難路 回 往療料 距離(片道) km		普通 回 夜間・難路 回 往療料 距離(片道)	
暴風雨 回同一家屋 回		暴風雨 回 同一家屋 回	
初回処置料 □ 整復料 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回		初回処置料 □ 整復料 回 □ 固定料 回	
□ 施療料」 回		□ 施療料 回	
回 後 療 料 回 回		回 後 療 料 回 回	
運動療法回		運 動 療 法	
温 罨 法 料 月 日から 月 日まで 回 月 日から 月 日まで 回		温 罨 法 料 月 日から 月 日まで 回 月 日から 月 日まで 回	
月 日から 月 日まで 回 冷 罨 法 料 月 日から 月 日まで 回		冷 罨 法 料 月 日から 月 日まで 回 月 日から 月 日まで 回	
電療料回回		電療料回	
レントゲン料 回	医師の同意の 有 無 □有 □無	レントゲン料回	医師の同意の 有 無 □有 □無
入院料 月 日から 日間	健康保険等の法令による受給関係	入院料 月 日から 日間	健康保険等の法令による受給関係
月 日まで 宿 泊 料 食事料 月 日から 日間	受給の有無 □有 □無	月 日まで 宿 泊 料 食事料 月 日から 日間	受給の有無 口有 口無
月日まで	保険の名称	月日まで	保険の名称
その他	支給される額円	その他	支給される額
合 計	一部負担金	合 計	一部負担金
施術料請求額	円 ※	施術料請求額	円※
上記の事項は事実と相違ないことを証明しま年 月 日		上記の事項は事実と相違ないことを証明し年 月 日	します。
施術所の〈名		施術所のく	
	i術者の氏名		し 施術者の氏名 <u>´´</u>

訪問看護事業者の証明書	氏名	訪問看護事業者の証明書	氏 名
病 名	(訪問看護期間)	傷病名	(訪問看護期間)
5病の経過) 	年 月 日から	(傷病の経過)	年 月 日から
	年 月 日まで		年 月 日まで
	訪問看護の回数 回		訪問看護の回数 回
□保健師 □看護師 □理学療法士	指示年月日 年 月 日	□保健師 □看護師 □理学療法士 基	指示年月日 年 月 日
□作業療法士	主治医への直近報告年月日 年 月 日	本□作業療法士	主治医への直近報告年月日 年 月 日
	(訪問日)		(訪問日)
H × D H	1 2 3 4 5 6 7	療 円 × 回 円	1 2 3 4 5 6 7
□准看護師	8 9 10 11 12 13 14	養 □ 催看護師	8 9 10 11 12 13 14
円× 回 円	15 16 17 18 19 20 21	費 円	15 16 17 18 19 20 21
理初日円	22 23 24 25 26 27 28	管 理 初 日 円	22 23 24 25 26 27 28
養費 2回目以降 回 円	29 30 31	療養費 2回目以降 回 円	29 30 31
報提供	提供した情報の概要	情報提供	提供した情報の概要
養費		所報(近) 療養費	
ーミナ	情報提供先の市(区)町村の名称		情報提供先の市(区)町村の名称
ケア	(備考)	ルケア	(備考)
死亡年月日 年 月 日	, will state the state of the s	死亡年月日 年 月 日	
計		合 計 円	
5問看護を指示した医療機関の名称及び主治医の氏名		訪問看護を指示した医療機関の名称及び主治医の氏名	
医療機関の名称		医療機関の名称	
主治医氏名		主治医氏名	
記の事項は事実と相違ないことを証明します。		上記の事項は事実と相違ないことを証明します。	
年 月 日		年 月 日	
が 所 在 地 訪問看護事業者の 名 称		が また が また が また が また が また が また かんしゅう あいま かんしゅう はんしゅう はんしゅん はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんし	
初回有護事業有の人名が、代表者氏名		が 付表者氏名	<u> </u>

川記様式第5号 消 防	別記様式第5号
水 防 団 員 □応急措置従事者	□水 防 団 貝 □応急措置従事者
防団員等の氏名 事 故 発 生 日 年 月 日	海防団員等の氏名 事 故 発 生 日 年 月 日
初 診 年 月 日 診断によって疾病が確定した日 年 月 日	初 診 年 月 日 診断によって疾病が確定した日 年 月 日
年 月 日 転 年 月 日	転 年 月 日 転
8 その程度 帰 □治ゆ □中止 □死亡 □継続 □転因	「
市 年 月 日 から 診 療	部 日本の人は別グマックの光空にのまたマートは 年 月 日から 診療
- 放養のため勤務その他の業務に従事することが できなかったと認められる日数 年 月 日まで 実日数	(
ク 本人の職業に関連して療養のため 休果しおければならなかったこと等 についての医師等の意見	の 本人の職業に関連して療養のため 休果しなければならなかったこと等 についての医師等の意見
上記事項は事実と相違ないことを証明します。 所 在 地	明 上記事項は事実と相違ないことを証明します。
医療機関等の 名 称	医療機関等の 名 称
年 月 日 職・氏名	年月日 職・氏名 血
年 月 日から 全部休業した日数 日 自家営業 のうち そのうち イングランス アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	# 月 日から 全部休業した日数 日 市 の場合 のうち インボントラボ
年 月 日まで し一部体業した日数 日	年 月 日まで し一部体薬した日敷 日
全部体業した日数 日 (全部体業した日数 円) 「全部体業した日に支払われた給与の総額 円]	全部休業した日数 日 (全部休業した日数 円)
のうち 動務して 年 月 日まで 一部体業した日数 日	のうち → 動務して 年 月 日まで → 一部休業した日数 日
[一部休業した日に支払われた給与の総額 円]	日 [一部休業した日に支払われた給与の総額 円]
年 月 日から いた場合 傷 病 手 当 金 ロ受けた 日間(額 円) ロ受けなかった	年月日から いた場合 傷病手当金 日間(額円] 口受けなかった 数
在 月 日まで 上記事項は事実と相違ないことを証明します。 所 在 地	数 年 月 日まで 上記事項は事実と相違ないことを証明します。 所 在 地
使用主の証明 使用主の 名 称	等 使用主の証明 使用主の 名 称
年 月 日 <u> </u>	年月日 責任者氏名 ⑩ 5億年余の 新期 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
型 年金の種類 年金の年額 年金証書の記号番号 文紹開始 所轄年金事務所等 法 [障害等級第 級]	マップ 年 金 の 種 類 年 金 の 年 額 年 金 証 書 の 記 号 番 号 文紹開始 年 金 事務所等 年 月 所轄年金事務所等
令	都 会 関に
よ (補償基礎額) (円未満切捨) (請求日数)	係よ (イ大) (イス・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・
(A) $\beta \times 60/100 = \beta$	[A] H×60/100= H H× H= H
日 (補償基礎額) クカ防に基プルルに Win チキウ (円未満切捨) (請求日数)	日 (補償基礎額) 内班に左: 70×50年9年 (円未適切物) (請求日数) (請求日数)
(B) 円×60/100- = 円 円× 用= 円	補 (B) 円×60/100- = 円 円× 日= 円
(補償基礎額) 【 労務に基づく給与その他 】 (円未満切捨) (請求日数)	(補償基準額 (労務に基づく給与その他 の業務上の収入日額 (円未満切捨) (請求日数)
(C) 円- 円 ×60/100= 円 円× 日= 円	費 (C) 円- 円 ×60/100= 円 円× 日= 円 (分務に基づかない 給与そ)
一部外来した 日 小物調電器電報 の業務上の収入日額 「円末満切捨) (請求日数)	の 一部外来した 日 「
[D] 円- 円 × 60/100- 円= 円 円× 日= 円 (補償基礎額) (通院に要した時間) (円未満切捨) (請求日数)	(D) 円- 円 メ60/100- 円= 円 円× 日= 円 (論依非際句) (海底に悪した時間) (円未満財務) (論求日教)
(補債基礎額) (通院に要した時間) (円末満切捨) (請求日数) (E) 円×60/100× 時間/7.75時間= 円 円× 日= 円	(補債基礎額) (通院に要した時間) (円未満切捨) (請求日数) 式 [E] 円×60/100× 時間/7.75時間= 円 円× 日= 円
[(A)~(F)()) 合計額[[(A)~(F)の合計額]
業補償費請求額	休業補償費請求額
補償基礎額	※ 補 償 基 礎 額
年月日から ※受理 年月日 休業期間及び日数 のうち日 年月日まで	年月日から ※受理年月日 ※休業期間及び日数 のうち日 年月日まで
休業補償費支払額 円 ※送金 年 月 日	※ 休業補償費支払額 円 ※送金 年 月 日
[項] (略)	[注意事項] (略)

長式第6号の2		別記様式第6号の2
変更後の障害の程度に関する証明書	2号紙	変更後の障害の程度に関する証明書
氏 名 男・女 生年月日 年 月 日 (*** *********************************		氏 名 男・女 生年月日 年 月 日 () 歳 ※宝み仕日 毎 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
サーバー 更のあった年月	月日	パーテルエー 中 カー 甲 更のあった年月 中 カーロー
傷 病 名 (初診時の症状及び経過) 既 存 (部位・程度・状況等) 障 実		傷 (初診時の症状及び経過) 病 名 (初診時の症状及び経過) 音 に (部位・程度・状況等) に (部位・程度・状況等)
残 存 障 害 の 内 容		残 存 障 害 の 内 容
主自		主 自 訴 覚 又 症 は 状
他 び 検査 症状 及果		他 び 覚症 症 状 及 果
種類 残存障害の程度及び内容		種類 残存障害の程度及び内容
視 力 調 節 機 能 視 野 狭 窄 (8方向)		視 力 調 節 機 能 視 野 狭 窄 (8方向)
裸眼 矯正 近点・遠点・屈折力等 調節力 上 上外 外 外下 下 下内	内 内上	課 様 正 近点・遠点・屈折力等 調節力 上 上外 外 外下 下 下内 内 内上
の障害 は () D 服動 1 複視の有無 球障 2 注の 視広 運害 口 左右上下視にて複視を生ずる にて複視を生ずる 要さ 両限		() D () D () D () D () D () D () D 左 視広 右 運客 口 左右上下視にて複視を生ずる 野さ 両限
ま の ※まぶた・まつ毛の欠損、運動障害 ぶ 障 た 害		ま の ※まぶた・まつ毛の欠損、運動障害 ぶ 障 た 害
恵 耳 オージオメーター検査成績 語音明瞭度検査 人声聴力検査所	戊績	ホージオメーター検査成績 語音明瞭度検査 人声聴力検査成績
$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	cmにて 可能	$\frac{1}{2}$ $$
障 の	cmにて 可能	障の 害欠
と 損 ※耳鳴の有無及びその程度 ※耳介の欠損程度		と 損 ※耳鳴の有無及びその程度 ※耳介の欠損程度
鼻 障 ※鼻軟骨の欠損程度 ※鼻の機能障害 (鼻呼吸・嗅覚等について)		鼻 障 ※鼻軟骨の欠損程度 ※鼻の機能障害(鼻呼吸・嗅覚等について)
の 害 全部・大部分・一部分		の 害 全部・大部分・一部分
※1 発声機能の完全喪失 2 中枢性失語症…[運動性・感覚性・その他((日本) ※1 発声機能の完全喪失 (日本) (日本) (日本) (日本) <td< td=""></td<>
そ機※1 流動食以外は摂取できない 機機 し能 2 粥食程度なら摂取できる 又害 く障 3 ある程度固形食は摂取できるが、これに制限があって は 害 そしゃくが充分でないもの		そ機 ※1 流動食以外は摂取できない 職損 し 能 2 納食程度なら摂取できる 又害 く 降 3 ある程度固形食は摂取できるが、これに制限があって は 害 そしゃくが充分でないもの

類				残	存障	書 の 🥫	程度	及びド	为 容				種类	i			残	字 障 第	害 の 精	星 度	及びに	为 容			
()	(障害の	り内容、	就労能力等	等に及ぼす	支障の程	度)		-			-		精		の内容、息	光労能力等	に及ぼす	支障の程	变)		-				
生殖													神生	ī											
器													神岩	ř											
泌													経、												
尿													·												
器)													胸腹												
の													部の												
障													臓												
害	(make sales	- 2m -la 1		V 88 3 - 1	101.1								器等		- 40 -4-1 -		nn v								
等	(障害の	り程度を	図示又は記	说明してく	ださい)								切争		の程度を認	図示又は説	明してく	ださい)							
の													断。)											
17-5-													知り	f											
障害													党 領	5											
Vari	• / sleep f.l.	772 LU	n/→ 1.4/6 nac 1.	u		rtr: 60		m = =	ルセット	\	-4- 1= 1	de m	世へ	**	777 LU- 11		* 0	1	phe 44		, J	ルセット	± / n-	- 44. 1= h	44)
可 形動:		・・ 類雅・ ・・ 骨折・	胸椎・腰 ^材 固定術・			度後右		没装コ	<u>月</u> ルセット	`	許的・恒久	的)・無	き奇柱形)	th	···頸椎・脂 ···骨折・固		前屈		度後	_	装コ	<u>用</u> ルセット		き的・恒久	.的) •
) 障 及	ペ까囚.	筋肉拘	縮•	左 屈		_			種類	Į.			の変及	**************************************	筋肉拘約	宿•	左 屈	-	右	_	0	135 //	i		
び害		その他	()	左回旋		右回			の他				形び		その他	()	左回旋		右回	山旋		の他			
短	上下肢長	ŧ (m 短縮のD	京因				体幹骨 長管骨	※部位	果体となっ	てわかる	程度	下角肢	左下肢	長 cr	短縮の原	因				体幹骨 長管骨	※部位	単休 レ かっ	てわかる	程度
縮	占下肢長	ŧ (m					の変形	р. I	レントゲン	写真でわ	かる程度	の糸	右下肢	탄 cr	n					の変形	п. L	ントゲン	写真でわ	かる程度
	関節	運動	自	動	他	動	関 節	運動	自	動	他	動		関節	i 運 動	自	動	他	動	関節	道 運 動	自	動	他	動
	部 位	種業	左	右	左	右	部 位	種類	左	右	左	右		部位	種 類	左	右	左	右	部 位	1 種 類	左	右	左	右
<u>т</u>			度	度	度	度			度	度	度	度	上。			度	度	度	度			度	度	度	Į.
手_指													· = 下												
<u> </u>		-								_			肢	·		1					-				
足													(n)	_											
指を-													機	î											
を含													能												
む								<u> </u>					障(1				
													害												
		1																							
-													備考							-					
備老														. /操:Ah	司復の日、	17. Zn	山糸老正	B /							
考	(松公)	国復の目	277, 20	りか参考部	目)								予月後	(校形	当後 い兄は	込み、その	心 多 与) 丌 .	元丿							
考 所	(機能回	可復の見	込み、その	D他参考所	見)																				
考 所 見													0 1	1	おりである	ろことを証	明します								
考 所 見		おりであ	ることを記	証明 します		「所 右	E 地						0 1	上記のと		ることを証 日		0	一 所 有	三 地					
考 所 見	記のと	おりであ		正明します I			王地称						0 1	上記のと				・ 療機関の	 所 在 名	E 地 称					
考 所 見	記のと	おりであ	ることを記	正明します I	0		称						0 1	上記のと						称					<u> </u>

C第7号	別記様式第7号
^{2号紙} 障害の程度に関する証明書	2号紙 障害の程度に関する証明書
	降日が住及に関する皿の目
氏 名 男·女 生年月日 年 月 日()歳	氏 名 男・女 生年月日 年 月 日()歳
災害発生日 年 月 日 治ゆ又は症状固定日 年 月 日 治 ゆ 症状固定	災害発生日 年 月 日 治ゆ又は症状固定日 年 月 日 治 ゆ 症状固定
入院期間 年月日から(日間) 日間 毎時期間 年月日から 実治療日数年月日まで(日まで(日まで)日	入院期間 年月日から(日本)日間 日間 通院期間 年月日から(実治療日数)日 日まで(日本)日 日まで(日本)日 日まで(日本)日 日まで(日本)日
傷 (初診時の症状及び経過) 病 名 (部位・程度・状況等) 障 実	傷 (初診時の症状及び経過) 病 名
残存障害の内容	残存障害の内容
主自訴覚又症	主自訴覚又症は状
他 び 検査 症状 及果	他 び 検 症状 お 及 果
種類 残存障害の程度及び内容	種類 残存障害の程度及び内容
視 力 調 節 機 能 視 野 狭 窄 (8方向)	視 力 調 節 機 能 視 野 狭 窄 (8方向)
裸眼 矯正 近点・遠点・屈折力等 調節力 上 上外 外 外下 下 下内 内 内上	裸眼 矯正 近点・遠点・屈折力等 調節力 上 上外 外 外下 下 下内 内 内上
球 左 (眼 球 左 () D
の 障 右 () D	の 障 右 ()D
審 眼動 1 複視の有無 2 注の 左 球障 イ 正面視にて複視を生ずる 視広 右 運害 ロ 左右上下視にて複視を生ずる 両眼	審 眼動 1 複視の有無 2 注の 左 球障 イ 正面視にて複視を生ずる 視広 右 運害 ロ 左右上下視にて複視を生ずる 野さ 両眼
ま の ※まぶた・まつ毛の欠損、運動障害 だ 害	ま の ※ まぶた・まつ毛の欠損、運動障害
オージオメーター検査成績 語音明瞭度検査 人声聴力検査成績	オージオメーター検査成績 語音明瞭度検査 人声聴力検査成績
聴 耳 Δ	聴 耳 $\frac{a()+2b()+2c()+d()}{6}=\frac{1}{2}$ $\frac{db}{db}$ 最良明瞭度 大 声 不能 接耳 $\frac{dc}{db}$ 不能 可能 $\frac{dc}{db}$ $\frac{dc}{db}$ 表 の $\frac{dc}{db}$
障 の 右 <u>a()+2b()+2c()+d()</u> = d _{db} 最良明瞭度 大 声 不能 接耳 cmにて	障 の 右 <u>a()+2b()+2c()+d()</u> = db 最良明瞭度 大 声 不能 接耳 cmにて
害欠 4 6 %話声語 不能 可能 「可能」	害欠 6 %話声語 不能 可能 一 可能
※耳鳴の有無及びその程度 ※耳介の欠損程度	と 損 ※耳鳴の有無及びその程度
鼻 障 ※鼻軟骨の欠損程度 ※鼻の機能障害 (鼻呼吸・嗅覚等について)	鼻 障 ※鼻軟骨の欠損程度 ※鼻の機能障害 (鼻呼吸・嗅覚等について)
の害全部・大部分・一部分	の害 全部・大部分・一部分
※1 発声機能の完全喪失	※1 発声機能の完全喪失
言の 2 中枢性失語症… [運動性・感覚性・その他 ()]	言の 2 中枢性失語症… [運動性・感覚性・その他 ()] 離状度等
機 著 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	機害 3 発音機能障害…発音不能語音
『「「「「「「」」」」(「「」」」(「「」」」(「」」)(「」」)(「」」)(「	「「「「「「「」」」」 (口唇音・歯舌音・口蓋音・喉頭音) 「「うの」 方法等 「の 欠
・ 機 ※ 1 「本語会門がけば時できわい	- 2 機 ※ 1 添動会 P M 付
し能 2 朔食程度なら摂取できる 状障 又害	大 に
く 障 3 ある程度固形食は摂取できるが、これに制限があって 害 そしゃくが充分でないもの	く 障 3 ある程度固形食は摂取できるが、これに制限があって 害 そしゃくが充分でないもの

重類				残	存 障	害の	程度	及びド	为 容			
	障害の内	容、就	労能力等	€に及ぼす	支障の程	度)						
生殖												
器												
泌尿												
男												
[
障												
害												
等	障害の特	腰を凶	示又は説	朗してく	ださい)							
の												
障												
害												
Next		-111 711		/ v. =	1				ルセット	N 4- 7 m		
t. 1%	部位…頸			前屈			屈	发装	月	有(一時	持的・恒久	(的)・無
ど [] ※	原因…慣	が折・固		左 屈		右	屈		ルセット 種 類	頁		
		の他(左回旋		右回	可旋	そ	の他			
,	下肢長	cm	短縮の原	因	•	•		体幹骨	※部位		-1	for etc
縮右	下肢長	cm						長管骨 の変形	イ. 社 ロ. I	裸体となっ レントゲン	くわかる ′写真でわ	程度 かる程度
	¶ 節 i	重 動	自	動	他	動	関 節	運動	自	動	他	動
ì	13 位 1	重類	左	右	左	右	部 位	種類	左	右	左	右
_			度	度	度	度				度 度	度	度
手_ 指	- 											
<u>:</u>	-			<u> </u>		<u> </u>		+		_		
足												
指を												
を												
t								1				
$^{\sim}$ L				ļ								
Ħ					•		•		•	,	•	
号												
	機能回復	の見込	み、その)他参考所	見)						-	
見												
上記	のとおり	である	ことを記	E明します								
	年	月				所有	主地					
				医	療機関の		称					
						医師	氏名					
						<u> </u>				賞等共済基		殿

第7号		別記様式第7号の2
	^{2号紙} 変更後の障害の程度に関する証明書	変更後の障害の程度に関する証明書
氏	名 男·女 生年月日 年 月 日()歳	氏 名 男・女 生年月日 年 月 日 () 前
災害発生	E 日 年 月 日 治ゆ又は症状固定日 年 月 日 治 ゆ 症状固定	災害発生日 年 月 日 治ゆ又は症状固定日 年 月 日 治 ゆ 症状固定
障害	の程度に変更のあった年月 年 月 日	障害の程度に変更のあった年月 年 月 日
傷 病 名	初診時の症状及び経過) 既 存 障 害	傷 病 名 (初診時の症状及び経過) 原障 害 (部位・程度・状況等)
	残 存 障 害 の 内 容	残存障害の内容
主訴 又は は 状		主目 訴覚 又症 は 状
他覚症状及		他 び 検 症 状 及 果
種 類	残 存 障 害 の 程 度 及 び 内 容	種類 残存障害の程度及び内容
の障害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	視力 調節機能 裸眼矯正 近点・遠点・屈折力等調節力 上外外外下下下内内内上 佐 () D 動1 複視の有無 イ 正面視にて複視を生ずる ロ 左右上下視にて複視を生ずる 野さ 両眼 まぶた・まつ毛の欠損、運動障害	 規 力 調 節 機 能 視 野 狭 窄 (8方向) 裸眼 矯 正 近点・遠点・屈折力等 調節 力 上 上外 外 外下 下 下内 内 内 内 内 方 塩 位 () D
聴耳	オージオメーター検査成績 語音明瞭度検査 人声聴力検査成績	ホージオメーター検査成績 語音明瞭度検査 人声聴力検査成績
	$\frac{a()+2b()+2c()+2c()+d()}{6}=$ $\frac{a()+2b()+2c()+2c()+d()}{6}=$ $\frac{a()+2b()+2b()}{6}$ $\frac{b}{a}$ $\frac{b}{a$	$\frac{1}{2}$ 1
障の者	右 a()+2b()+2c()+d() a()+2b()+d()+d()+d() a()+2b()+d()+d()+d() a()+2b()+d()+d()+d()+d() a()+2b()+d()+d()+d()+d()+d() a()+2b()+d()+d()+d()+d()+d()+d()+d()+d	障の 吉 大
鼻障※	鼻軟骨の欠損程度 ※鼻の機能障害 (鼻呼吸・嗅覚等について)	鼻 障 ※鼻軟骨の欠損程度 ※鼻の機能障害 (鼻呼吸・嗅覚等について)
言語機能 そ…※	全部・大部分・一部分 1 発声機能の完全喪失 2 中枢性失語症… [運動性・感覚性・その他()] 3 発音機能障害…発音不能語音 (口唇音・歯舌音・口蓋音・喉頭音) 4 その他… 1 流動食以外は摂取できない ###################################	の書 全部・大部分・一部分 言の問題 2 中枢性失語症… [運動性・感覚性・その他())] 機復害能 ※1 発音機能障害…発音不能語音 (口唇音・歯舌音・口蓋音・喉頭音) 4 その他… そ機※1 流動食以外は摂取できないします。 2 対象は対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対
く障:	2 粥食程度なら摂取できる	マ

種類				残	存 障	害の	程 度	及び!	内 容					種類				残	存 障 割	手の す	程 度	及 び P	字 容			
精(神生	(障害の	の内容、	就労能力)等に及ぼ	す支障の程	呈度)								精(神生	(障害	の内容、前	光 労能力等	「に及ぼす」	支障の程度	ŧ)						
石古														• 殖												
神器・経経・														神器経												
・光														※ 尿												
胸 器)														胸 器)												
部の														部の												
臓 障器 害														臓 障 器 害												
	(障害の	の程度を	・図示又は	は説明して	ください)									-	(障害	の程度を図	引示又は説	見明してく:	ださい)							
切等断の														切等												
知障														知障												
党害														党害												
せへ運	※	頸椎・	胸椎・腰	要推 前	屈	度後	屈	度出	ルセット	有 (一時	がい 恒久	的) •無		せへ運	※	…頸椎・肺	a椎 • 腰椎	自 前 屈		度後	屈	度は	レセット	有 (一時	的・恒久	的) •無
き柱の変形 及び			固定術・				屈	装コ	ーー ルセット	, , , , ,	107 [57			き奇 柱形		骨折・固		左屈		右		安 コ	<u>用</u> レセット	13 (1.0	11) EX	137 ///
の 産及	水原因.	筋肉拍]縮・		_				種 類	Į.				の 変及	水原囚.	筋肉拘綿	音•		+	_			種 類 D他			
		その他 =	cm 短縮σ	左回:	WE	和	回旋	体幹骨	の他 ※部位					形び害 短	左下肢	その他	短縮の原	左回旋		右回	1/J/E	体幹骨	※部位			
肢	左下肢長 右下肢長		cm 起稿 (). cm	7. 原囚				長管骨の変形	イ. 衫	果体となっ レントゲン	てわかる	程度		肢	左下版‡ 右下肢‡		1	R LO				長管骨	イ. 裤	は は と な り な り た り た り た り た り り り り り り り り り	てわかる	程度
マク 利自	関節	:	b 自	動	他	動	関節	+	自	シンドクン 動	サ具 (4)	かる住及動		マン 利由	関節	:	1	動	他	動	関節	の変形 運 動	自	動	サ具てわ	動
				右	左	右	部位		-	右	左	右						右	左	右	部位		左	右	左	右
上~	部 位	種类		-		+		. IE N	左	+		 		上~	可 1火	種類	左度			度	DD 177	1里 規		 		度
· 手				度	度	S 19			及	及	度	度		· 手			及	度	度	及			度	度	度	及
下指肢:						-			1					下指 肢·												
の足														の足												
機を														機を												
能含														能含												
障む														障む												
備		•	-			•	•		•	•	•	•		備		•	•				•	•		•	•	
考	/ bk &- =	7/2 0 17	\1 3 3 3	- 41 - 4 - 1-	7 - 1									考	/ b/k 61- r			. U. A. * *								
予 所後	(機能)	回復 の見	込み、そ	の他参考	所見)									予 所	(機能)	回復の見込	込み、その)他参考所	見)							
の見	きのし	よ ゝり ベキ	. Z > 1. ≠	·計明1 +	-}-									の見	. 却のし	ナンハースナラ	z > 1. +.⇒	1田1 ナナ								
	:配のと: 年			≧証明しま 日	9 0	「 所 i	生 地							1		おりである F 月			0	所 有	E 地					
	医療機関の 名 称															医	療機関の・	名	称							
						[医테	i氏名 消防	団員等小¥	冬災害補係	賞等共済基	金理事長									医師.		団員等公務	災害補償	等	金理事長	<u>⑩</u> 殿
—— [注意事〕		(略)					111/97	<u> </u>	7/C D IM B	K T / I/I /		V>A	Γŷ	─── 注意事 [』]	 盾]	(略)					1111971	<u> </u>		C T / In dis		//
口工品事	ドー	(四四)											L1.	工 尽 尹,	尽」	(四日)										

別記様式第 13 号	別記様式第 13 号
損害補償費支払決定通知書 消基発第 号	損害補償費支払決定通知書 消基発第 号
年 月 日 	年 月 日
消防団員等公務災害補償等共済基金理事長	消防団員等公務災害補償等共済基金理事長 印
損害補償費の支払決定について	損害補償費の支払決定について
御請求のありました損害補償費については、審査の結果、下記のとおり決定 しましたので、御通知申し上げます。	御請求のありました損害補償費については、審査の結果、下記のとおり決定 しましたので、御通知申し上げます。
記	記
1 損害補償費支払額	1 損害補償費支払額
2 支 払 日 年 月 日 氏 名	2 支 払 日 年 月 日 氏 名
構成市町村	構成市町村
種別	種 別
(内 訳)	(内 訳)
種 別 回 数 請 求 日 金 額	種 別 回数 請求日 金額
年 月 日	年 月 日
年 月 日	年月日
年 月 日	年月日
損害補償費合計	損害補償費合計

別記様式	第 13 号の 3							別記榜	美式 質	第13号の3							
		年	金 決	定 通 知	書						年	金決	定 通 知	書			
						消基発	送第 号								消基	発第	号
							年 月 日									年	月日
		展	江汉								J	殿					
]員等公務災	害補償	等共済基金	· 理事長						員等公務災	害補償	等共済基	金理!	事長 月
下記(のとおり年金の	の支払を				42101		下	記の)とおり年金(の支払				,,,,,		<u> </u>
, 40	2 4 - 7 32	- > - ,		記	3, 7, 0			'	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	· C (1-) <u></u>	-) (]		· ()@/ 0	0, 70			
				н-								•					
1	年金支払決定	釆巳 国	事故年度	· 種	別		<u> </u> 所	1		年金支払決定	釆巳	事故年度	種	別			 所
ŀ		H 7	年月	- '	70.1		171				田 77	年度	1至	7).1			171
非常對消	氏	, ,		-	П			非常問題	万 団	 氏			4 F 0	П			
勤 員 消 等	八	名 	性別					勤員	員 上	尺		各 性別	生年月				
				年 月	H			113 2	,1				年月]			
								1									
2	年 金 (の 種	類	3 2	受 給	権者の	氏 名	2		年 金	の 種	重 類	3	受 給	権者	の 氏	名
		1															
4 等	毅	5 特	殊公務災割	3				4	等	級	5 华	寺殊公務災害					
第	級							第		級							
6	補償基礎額	7	遺族補償年	三金の額の算定	の基礎と	となる遺族数	を 1 7 の人	6	裤	捕償基礎額	7	遺族補償年金	金の額の算定	どの基礎と	となる遺族	等数	8 7の人
円	内 訳	人	内]		訳	数に含まれな	P	9	内 訳	人	. 内			訳	Į	数に含まれな
	基礎額		配偶者	子 父 母	孫	祖父母	兄 弟 い特例 姉 妹 遺族数			基礎額		配偶者	子 父 母	: 孫	祖父母	兄 弟 姉 妹	い特例 遺族数
	円円		人	人人	人		人人			円円	_	人	人人	. 人	. 人))	
9	他の注	上 去 令	による	 5 給 付 と	の意	周 整	<u> </u>	9		他のi	<u> </u>	による	給 付 と	· の i	周 整		
法	ま 律 の 名	称	調	整率		調整	額		法	律 の 名	称	調	整率		調整	圣 客	 頁
							円										円
10 年	金支払物	領	11 各非	朝の支払額	12	支払開始	6年月	10	年	金支払	額	11 各期	の支払額	12	支 払 開	始年	月

月

円

円

年

月

年

円

年 金 改 定 事 由	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15
年 金 支 払 停 止	
損害補償額 円に達するまでの間、 の支払を停止	す 1 損害補償額 円に達するまでの間、 の支払を停止す
る。	3。
(その期間が事故発生日以降 年を超えるときは 年とする。)	(その期間が事故発生日以降 年を超えるときは 年とする。)
前払一時金額 円に達するまでの間、 の支払を停	止 2 前払一時金額 円に達するまでの間、 の支払を停止
する。	する。
遺族補償年金を受ける権利を有する者の所在が 1 年以上明らかでない場合には、	同 3 遺族補償年金を受ける権利を有する者の所在が1年以上明らかでない場合には、同
順位者があるときは同順位者の、同順位者がないときは次順位者の申請によって、	そ 順位者があるときは同順位者の、同順位者がないときは次順位者の申請によって、そ
の所在が明らかでない間、その者に支払うべき遺族補償年金の支払を停止する。	の所在が明らかでない間、その者に支払うべき遺族補償年金の支払を停止する。
遺族補償年金を受ける権利を有する者が特例遺族である場合には、その者が支給	停 4 遺族補償年金を受ける権利を有する者が特例遺族である場合には、その者が支給停
止解除年齢に達するまでの間、その者に支払うべき遺族補償年金の支払を停止する	止解除年齢に達するまでの間、その者に支払うべき遺族補償年金の支払を停止する。
6 考	
注意事項] (略)	[注意事項] (略)

□ 公司の資金部を対象	別記様式第14号 消防団員 一水防従事者 療養の現状報告書	別記様式第14号
議議	□水 防 団 員 □ 応急措置従事者	□水 防 団 員 □ 応急措置従事者
無数解析的は其等の疾病 振変響的 年 月 日	消防団員等公務災害補償等共済基金理事長 殿 道 町長 氏 名 一 下記のとおり療養の現状を報告します。	消防団員等公務災害補償等共済基金理事長 殿 道 町長 氏名 印
東東の経過 「意味の必要(傷物を入り、	非労働消防団員等の氏々	非常勤消防団員等の氏名
日常生活の概要 日常生活の概要 日常生活の概要 日常生活の概要 日常生活の概要 日常生活の概要 日常生活の概要 日常生活の概要 日常生活の概要 日常生活の概要 日常りたの配金 日常りたの配金 日常りたの配金 日常りたの観響 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		傷病名
協商の経額(協商名	療養の経過	療養の経過
- 傷病の経過及び治療療力法の概要 - 傷病の経過及び治療療力法の概要 - 傷病の後の見込み - 監督の今後の見込み - 関 - 上記のとおりであることを証明します。 - 年 月 日 - 正成機関の - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 -	日常生活の概要	日常生活の概要
医療方法の概要 6 病 の 現 状 の 証 傷病の今後の見込み 明 上記のとおりであることを証明します。 年 月 日 医療機関の 名称 医療機関の 名称 医療機関の 名称 医療機関の 名称 医療機関の 名称 医療機関の 名称		
 傷 病 の 現 状 の 傷病の今後の見込み 助 上記のとおりであることを証明します。 年 月 日 医療機関の 名 称 医療の氏名 	ne l	les l
 証 傷病の今後の見込み 明 上記のとおりであることを証明します。 年 月 日 医療機関の		
明 上記のとおりであることを証明します。 年 月 日 年 月 日 医療機関の 名 称 医師の氏名 [日] Example 2 Example 3 Example 3 Example 3 Example 3 Example 4 Example 3 Example 4 Example 5 Example 4 Example 4 Example 4 Example 5 Example 5 Example 6 Examp	0	
年 月 日 医療機関の 名 称 医師の氏名 医師の氏名 年 月 日 医療機関の を 地 名 称 医師の氏名	証 傷病の今後の見込み	証 傷病の今後の見込み
医療機関の 名 称 医師の氏名 国		
		医療機関の 名 称
注意事項] (略)	KBMの氏名	

新統国(中央の情災者協奪生)減差金煙等臭 雑	
#素動術的研熱学の氏名 佐 所	目
原書の状 次表 日常生活の概要 保存の経験(協索名	月 月 日
日常生活の概要	号
(協称の参加 (協称を)	
・ 協称の部位等	
方法の概要 方法の概要 方法の概要 方法の概要 方法の概要 方法の概要 方法の概要	
下護補償を受けている者にあっては、以下の項目についても記入してください。	
師	
### ① 行動能力 □ 終日以床 □ 自宅、病棟内でのみ行動できる □ 通院(単独歩行)できる □ 通院(単独歩行)できる ② 食 事 □ 全く自用を弁じない □ 他人の分助によってできる □ 支験がない ② 別 便 □ 全く自用を弁じない □ 他人の分助によってできる □ 支験がない □ 徳人の分助によってできる □ 支験がない ② 精神能力 □ 常に他人の厳重な注意を要する □ 通院可能であるが競労できない □ 適時・一の注意を要する □ 通院可能であるが競労できない ③ 言語能力 □ 完全を失語るるいは構音機能の喪失 □ 他人の分助によってできる □ 支験がない ② 新神能力 □ 常に他人の厳重な注意を要する □ 通院可能であるが競労できない ③ 言語能力 □ 完全を失語るるいは構音機能の喪失 □ 他人との間でようやく意思を通じ合うことができる □ 理由 □ 「参修力」 ○ 食 中 ○ 全く自用を弁じない □ 他人の分助によってできる □ 支験がない ② 別 便 □ 全く自用を弁じない □ 性人の分助によってできる □ 支験がない ③ 請称能力 □ 常に他人の厳重な注意を要する □ 通院可能であるが競労できない □ 透師・他人との間でようやく意思を通じ合うことができる □ 世上記のとおりであることを証明します。 年 月 日 「原産 佐機関の 「所 在 地 医療機関の 「所 在 地 」 「表示しまりであることを証明します。	
個人の介助によってできる □支障がない	
の ② 用 便 □全く自用を弁じない □他人の介助によってできる □支障がない ③ 精神能力 □常に他人の厳重な注意を要する □通院可能であるが就労できない ⑤ 言語能力 □完全な失語あるいは構音機能の喪失 □他人との間でようやく意思を通じ合うことができる □支障がない 明	
正	
1	
田	
上記のとおりであることを証明します。	
Manual Comports	<u>国</u>
T	20 DI 4
に ** よ 年 月	

別記様式第15号		別記様式第15号
□ 消 防 団 員 □ 水 防 従 事 者 □ 水 防 団 員 □ 応急措置従事者 □ 市 □ 市 □ 市 □ 市 □ 市 □ 市 □ 市 □ 市 □ 市 □	年金支払 決定番号 シー -	□ 消 防 団 員 □ 水 防 従 事 者 障害補償年金定期報告書 年金支払
□ 水 防 団 員 □ 応急措置従事者 □ 消防作業従事者 □ 救急業務協力者	年 月 日	□ 水 防 団 員 □ 応急措置従事者 □ 将急業務協力者 □ 将定番号 □ 次定番号 □ 次定番号 □ 日 □ 消防作業従事者 □ 救急業務協力者 □ 日 □ 日
都 市	т л н	都市
消防団員等公務災害補償等共済基金理事長 殷 道 町	長氏名	消防団員等公務災害補償等共済基金理事長 殿 道 町 長 氏名 ⑩
府 村 下記のとおり年金受給に関する現状を報告します。	_	下記のとおり年命受給に関する現状を報告します。
県組合管理を		県 組合管理者
非常勤消防団員等の氏名	事故発生日 年 月 日	事故発生日 年 月 日 非常勤消防団員等の氏名
	治ゆ年月日 年 月 日	治ゆ年月日 年 月 日
住 所	障害等級第級号	住 所 障 害 等 級 第 級 号
障害の種類		障害の種類
障害の現状		障害の現状
百常生活の概要		日常生活の概要
他 受 年 金 の 種 類 年 金 の 額 年 金 証 書 の 支 給 目	射始年月 所轄年金事務所等	他 受 年 金 の 種 類 年 金 の 額 年 金 証 書 の 支 給 開 始 年 月 所轄年金事務所等 記 号 番 号 支 給 開 始 年 月 所轄年金事務所等
T 金 の 種 類 年 金 の 額 記 号 番 号 支 給 目	月	の 給 (障害等級第級) 年金の額 記号番号 支給開始年月 所轄年金事務所等 と 関 年月 まる 年月
³ 8	月	年 月
[注意事項] (略)		[注意事項] (略)

別記様式第15号の2		別記様式第15号の2
□消 防 団 員 □水 防 従 事 者 遺族補償年金定期報告書	年金支払 決定番号 イー	□消 防 団 員 □ 水 防 従 事 者 遺族補償年金定期報告書 年金支払 ィー ー
□水防団員□応急措置従事者	决定番号	□ 水 防 団 貝□ □ 心急措置使事者
□ 消防作業従事者 □ 救急業務協力者	年 月 日	□ 消防作業従事者 □ 救急業務協力者 年 月 日
都 市 消防団員等公務災害補償等共済基金理事長 殿 下記のとおり年金受給に関する現状を報告します。	氏名	都 市 道 町 長 氏名 <u>印</u> 消防団員等公務災害補償等共済基金理事長 殿 下記のとおり年金受給に関する現状を報告します。
ふりがた	事故発生日 年 月 日	事故発生日 年 月 日
非常勤消防団員等の氏名	死亡日年月日	非常勤消防団員等の氏名 死 亡 日 年 月 日
区分 食 りが 若 生年月日 年齢 住 所	死亡者と 障害の 受給権者と生計を の続柄 有 無 同じくしているか	区 次 り が な 生 年 月 日 年 齢 住 所 死亡者と 障害の 受給権者と生計を 同じくしているか
受 年 月 日 蔵	有·無	受 年 月 日 歳 有・無
(新年) 月日 (藤) 株	有·無	A 年 月 日 様
者 年 月 日 歳	有·無	者 年 月 日 歳 有・無
年 月 日	有・無 いる・ いない	年 月 日 歳 有・無 いる・いない
受 年 月 日 歳	有・無 いる・ いない	受 年 月 日 歳 有・無 いる・いない
給 年 月 日 資	有・無 いる・ いない	給 年 月 日 歳 有・無 いる・いない 資
4 月 日	有・無 いる・ いない	格 年 月 日 「
者年月日歳	有・無 いる・ いない	者 年月日 歳 有・無 いる・いない
年 月 日	有・無 いる・ いない	年 月 日 歳 有・無 いる・いない
他のの法との種類 年金の年額 年金証書の 支給開始年月	所轄年金事務所等	他の のは法令 中金の種類 年金の年額 年金証書の 記号番号 支給開始年月 所轄年金事務所等
年月年	1	年月
(A) 関係 年 月	1	受給 関係 年 月
[注意事項] (略)		[注意事項] (略)

引記様式第16号 □消 防 団 員 □水防従事者 在会に関	エマ 年命支払 ビーニー	別記様式第16号
T W IC A		十 並 に 関 する 決定番号 / イ
□ 水 防 団 員 □ 応急措置従事者 □ 消防作業従事者 □ 救急業務協力者	告 書 年 月 日	□ 水 防 団 貝 □ 応急措置使事者 異 動 報 告 書 □ 消防作業従事者 □ 救急業務協力者
消防団員等公務災害補償等共済基金理事長 殿 道 下記のとおり年金に関する異動を報告します。 府 県	町 長 氏名 村 —	消防団員等公務災害補償等共済基金理事長 殿 都 市 道 町 長 氏名 印
非常勤消防団員等の氏名	事 故 発 生 日 年 月 日	非常勤消防団員等の氏名 事 故 発 生 日 年 月 日
異		異
動		動
O		
卢		内
容		容
異動した者の氏名	異動年月日 年 月 日	異動した者の氏名 異動 年 月 日 年 月 日
備		備
考		考
 頁] (略)		[注意事項] (略)

別記様式第24号

市町村長

組合管理者 氏名

掛金支払明細書

年度分

条例定員及び人口(水害予防組合にあっては、組合 会の議決で定める定員及び組合員の数)は、内訳のと おり相違ありません。

支払金額	н	
損害補償		
退職報償		
までの掛金額		
F 度 掛 金 総 計		

年 月 日 (注) 7 消防団員に係る分 イ 水防団員に係る分 ウ 消防作業従事者等に係る分 エ 水防従事者に係る分

	区分		団員割又は 人口割(A)		条例定員又は人口 (組合員数)(B)	掛 金 (A)×(B)	額 円
内		7		円			
	損虫	1		円			
	害補償	ġ		銭			
		I		銭			
訳		計					
	退職 報償			円			

別記様式第24号

掛金支払明細書

年度分

条例定員及び人口(水害予防組合にあっては、組合 会の議決で定める定員及び組合員の数)は、内訳のと おり相違ありません。

		支払金額	Н
ſ	内	損害補償	
	訳	退職報償	
	前回までの掛金額		
	今 年	F 度 掛 金 総 計	

年 月 日 (注) ア消防団員に係る分 イ水防団員に係る分

ウ 消防作業従事者等に係る分 エ 水防従事者に係る分

	7 旧の日来に事行寺にかる方 ~ 小のに事行にかる方							
		区分			割又は 1割(A)	条例定員又は人口 (組合員数)(B)	掛 金 (A)×(B)	額 円
	内		7		円			
		損害補償	1		円			
			ġ		銭			
			1		銭			
	訳		計					
		退職 報償		円				

市町村長 組合管理者 氏名